

大分大学教育学部同窓会  
**豊友会**  
竹田市支部

# 同窓会報

創刊 昭和56.2.16  
第72号  
2023.7.12発行  
事務局 62-2348



竹田市支部会長

早川

和

（竹田地区 昭和35年卒）

豊山豊水 永久に

はやかわ たかし

支部会長役を務めて二年目に入りました。大分大学学芸学部美術科を卒業し長湯中学校を振り出しに、教職の道を進み、多くの先輩の方々の支えを受けながら歩みを進めました。退職してから25年になりますが、未だに教壇の思い出は尽きません。担当した生徒のなかにも、教職の道を選んだ者が数多くいます。

その中の一人、東京の教職を務めあげたHさんは、図工・美術の担当で退職したあと絵を描いて暮らしています。また、昭島市に在住しているYさんは、社会福祉の仕事に力をいれているようです。

さて、私の美術科教師の1ページに生徒の似顔絵を描く場面がありました。累計すると三千余枚になります。管理職になっても続けました。校長室から似顔絵を生徒がもって出るときには、顔つきがかわっていました。教え子の結婚式に招かれ「先生から描いていただいた似顔絵、大切にしています。」と新郎の母親から云われたときは、びっくりしました。親子二代。似顔

絵を描いていたのです。心を込めて描いた似顔絵は、あちこちで思い出を留めています。小生未だに絵かき人生は続いています。最近は、「亡き夫と私を二人揃って描いてほしい」という注文が増えました。

同窓の各位のご健勝を祈りつつ、我が絵かき人生はまだまだ続きます。

## 本年度役員

- ◇ 会長 早川 和（竹田）
- ◇ 副会長 重石 親雄（入田）
- ◇ 監事 鎌田 哲夫（竹田）
- ◇ 幹事 桑島 真弓（直入小）
- 伊藤貴久生（城原小）
- 山下 修（祖峰）

## 今後の事業計画

- 7月末…県会報No.1支部会報発行配布
- 7月末～9月初旬…同窓会費(千三百円)徴収
- 11月初旬…第2回役員会
- 1月下旬…支部評議員会
- 2月25日(土)…支部定期総会・講演会
- 3月…県会報No.2 配布

## 長寿会員紹介

今年度、めでたく長寿のお祝いを迎えられる会員の皆様です。おめでとうございます。

○白寿会員99歳（1名）

芳川 浜子（大正14年2月25日 城原）

○卒寿会員90歳（2名）

竹内 實（昭和8年8月4日 竹田）  
真井 幸雄（昭和8年9月25日 竹田）

○米寿会員88歳（3名）

工藤 準一（昭和10年7月30日 豊岡）  
吉野 誠二（昭和10年8月30日 豊岡）  
重藤 英司（昭和11年4月1日 大分）

○喜寿会員77歳（2名）

菊池 正次（昭和21年11月18日 玉来）  
吉野 眞正（昭和21年6月26日 直入）

☆今年度の名誉会員（88歳以上）は、34名です。



「喜寿……峠か?」



喜寿会員 菊池 正次  
(玉来地区 昭和44年卒)

70歳の古希前後は、退職後絶好調だった感じがします。その一つゴルフで「70台」が三度出ました。退職互助会・退職校長会ゴルフクラブ・県美協書道部会竹田大野支部の各事務局を担い有意義な日々でした。

今77歳を迎えて、事務局は退職互助会の一つになりましたが、もうそんな歳になったのだなあと思います。ゴルフクラブでも、下から数えて数番目だったのが、今では上から数えて…になっています。

さあ、どうする?」

でも、やりたいことはあります。畑(借地)の野菜作り。書道の県美展入賞への悲願達成、ゴルフで80台返り咲きなど、目標を持ってチャレンジしていきます。

遊んでばかりでなく、毎朝のスクールガードや小学校への書写指導も続けます。みなさんのご指導ご協力をお願いします。



転任現役会員の声(校長)

小中一貫教育校を経験して



竹田市立  
豊岡小学校 校長 安東 紀代美  
(直入地区 昭和63年卒)

今年度、四年ぶりに竹田に戻ってきました。そのうち三年間は、小中一貫教育校の朝地小中学校で教頭、校長として勤務するという貴重な経験をさせていただきましたので、感じたことを書かせていただきます。

義務教育の九年間を見通して教育活動を考えていることはとても大変でしたが、やりがいもありました。

朝地小中学校では、一年生から四年生までを前期、五年生から七年生(中一)までを中期、八・九年生(中二・中三)を後期と位置付けていました。ですから、中一ギャップはありません。また、中期の子どもたちは学年による精神的な差があまりないため、中期の活動を工夫することとで、互いが刺激し合い、高め合う姿が見られました。

日常生活の中では、小学生中学生が自然とふれ合います。小学生は、中学生の姿を間近で見ることで見通しをもって過ごすことができますし、中学生の活躍にふれ、意欲向上につながる

新任現役会員の声(教頭)

新任教頭紹介

新任教頭として



竹田市立  
菅生小学校 重石 泰崇  
(祖峰地区 平成八年卒)

今年度四月より竹田市立菅生小学校に新任教頭として赴任いたしました重石泰崇と申します。よろしくお願いたします。

教頭としての勤務が始まり二ヶ月が経ちました。「教頭としてどれだけのことができていくだろうか」と自問自答しているところです。四月当初は「教頭として学校を支えなければ」という思いで勤務していました。しかし実際は、

というよさもありました。また、中学生が一年生に腰をかがめて優しく声をかける場面も日常的でした。各期の活動や全校縦割り班活動など異学年交流活動が多いため、心育てにつながっていたことが一番のよさだと考えます。一番苦労したのは、小中職員の一体感の醸成です。互いを知り、理解し合うことがとても大切だと感じました。この小中一貫の経験を生かし、九年間を見通した教育活動を行っていきたくと考えています。

職場の先生方、保護者、地域の方、元気いっぱいの子どもたち…といった多くの方々に支えられているということを強く感じるようになりました。私一人の力はとても小さいものです。しかし、みんなで思い共有して一緒に取り組んでいくことで、子どもたちの健やかな成長へとつながっていくと思っています。

菅生小学校は全校児童七名、教職員五名の極小規模校です。人数は少ないけれど、元気な学校、笑顔いっぱいな学校をめざしています。教職員数が少ないため、教頭職以外の用務もあり忙しい毎日ですが、子どもたちも教職員も毎日楽しく安全に過ごせるように今後も努めていきたいと考えています。

### 転任現役会員の声

#### 新任地での抱負



竹田市立  
祖峰小学校教諭 矢羽田 直希  
(日田市出身 平成27年卒)

昨年度まで大分市の南大分小に勤務し、竹田市の祖峰小にやってまいりました。前任校の南大分小は全校870人と大規模校だったのに対し、新たに勤務する祖峰小は全校44人と人数のギャップに初めのうちは戸惑うことも多々あり

ました。しかし、今年度受けもつ1年生は7人で、一人一人丁寧に指導することができ、小規模校ならではの魅力も同時に感じているところです。

昨年度も一年生を担当しており、これまでの経験を活かしつつ子どもたちに合うような指導ができていけばいいと思います。通勤時間がこれまでの倍になり、一人で学級事務をこなすなどストレスが溜まることも多いのですが、子どもたちと一緒に楽しい学校生活が送れるよう、自分の健康と相談しながら、頑張るところとリラックスする時間とのメリハリをしっかりとつけて過ごせていけたらいいなと思っています。

### 編集後記

この頃、電子辞書を使うことが多い。私にとって大切な道具である。これは、退職する際、職場の同僚から記念として頂いたものである。

この頃、学校も含め日本全国デジタル化ということ、やたらと横文字が横行している。総理大臣の演説もわかり(何を言っているのかわからない時もある。言葉を知らない私が遅れているのだろうか。わからない横文字をその都度調べている。英語を日本語に訳するのが難しい(ニューアンスが伝わらない)のか、横文字を使うのがデジタル化にふさわしいということだろうか。いづれにしても、言いたいことがきちんと伝わなければ、意味がないと思う。

会報を作成しながら、わかりやすく伝える大切さを感じている。

(O・Y)

### 2023年度竹田市支部会員数

学校区名	退職会員		現職会員	合計	学校区名	退職会員		現職会員	合計
	名誉	88未満							
					竹田支援学校			9	9
竹田小学校	8	12	3	23	竹田市教育委員会			3	3
旧岡本小学校	1	2		3	竹田教育事務所			3	3
旧明治小学校	1	2		3	荻小学校	0	3	4	7
豊岡小学校	6	11	4	21	白丹小学校	0	0	2	2
南部小学校	3	10	5	18	久住小学校	1	1	2	4
(松本)	1	4		5	都野小学校	2	2	3	7
菅生小学校	0	3	2	5	直入小学校	3	4	4	11
祖峰小学校	3	4	4	11	緑ヶ丘中学校			2	2
旧宮城台小学校	0	0		0	直入中学校			4	4
城原小学校	2	0	1	3	遠隔地	2	4		6
竹田中学校			3	3		33	62	61	156
竹田南部中学校			3	3					

## 豊友会について

### 1 名称

豊友会（大分大学教育学部同窓会）  
 学部の再編にあわせて名称を検討し変更してきました。

・昭和28年「大分大学学芸学部同窓会」・昭和41年「大分大学教育学部同窓会」

・平成11年「大分大学教育福祉科学部同窓会」・平成17年「豊友会」に変更し現在に至る。

平成28年度から実践型教員養成機能強化のため学部名を大分大学教育学部と改める。  
 令和元年度総会において会名変更「大分大学教育学部同窓会豊友会」とする。

### 2 目的及び事業

本会の目的は、「会員の友誼を温め母校の発展充実に努め、大同団結して教育・文化の振興、共生社会の実現に資する」こととし、会員相互の親睦（会員の名簿・機関

### 3 現在の活動の主なもの

紙の発行、講演会・懇談会の開催、母校経営に関する後援、研究に対する援助、関係団体との連絡提携などの事業を進めております。

○本部の活動  
 ・総会

毎年5月中旬、前年度の総括と新年度の事業計画・会報の発行年2回・大学との交流事業・会員名簿の作成・外国人学生との交流事業・大学への研究援助・講演・記念事業など  
 ○支部の活動

総会と講演会、竹田支部会報の発行など。

### 4 現状と課題

明治9年創立以来（同窓会は同28年発足）2万7千名余りの卒業生のうち、現在、1万名余の同窓生が県内外で活躍しております。学部の特殊性から大分県内での就職が

多く、県内に26支部の組織ができておりますが、県外にも関西、関東、熊本、福岡、宮崎の5支部ができています。

竹田市支部としても現在、歴史と伝統ある同窓会「豊友会」の目的及び事業（上記2）の達成のため連携を一層強化したいと考え取り組んでいるところです。

（1）会費

・年1,300円（本部費：800円、支部費500円）

・毎年2回発行している会報『豊友会会報』をお届けする際に集金します。

・活動の様子や同窓会の情報についてもお知らせいたします。

（2）その他

・県豊友会はホームページ（大分大学教育学部同窓会 豊友会）も開設していますので、各種情報をご覧ください。

